

健保組合
加入事業所の
ご紹介
その④

古谷乳業株式会社

「おいしさ、ふれあい、健康、明日、
創造」を企業理念に、健康と豊かな
生活に奉仕する企業をめざす



▲本社



▼成田工場

も産地や新鮮
さを考慮し、
「つくも酪農
牛乳」(九十九
里が「つくも」
と読むことから
命名)、大
型壺、小型壺

この取材は八月十三日、千葉市美浜区の本社を訪問し、斉藤総務部長と高岡総務部次長にお話を伺い、行いました。お盆の最中のせいか、周りは静かでした。本社内に工場があったころは、古谷乳業で牛乳工場を見学してから隣のパン工場、最後に千葉市の清掃工場を回るのが、小学校の社会科見学のコースだったそうです。

古谷乳業株式会社は、昭和二十年十月千葉県山武郡(現山武市)成東町で創業。昭和二十四年に銚子工場を新設するにあたり、消費地域に拠点を移すため千葉市も検討しましたが、銚子を拠点とすることにしました。銚子は千葉県の東端の市ですが、古くから漁業と醤油の町として栄え、人口も千葉方面に次いで多く、利根川の対岸は茨城県と成東町とは比べものにならないほど大きな市場でした。昭和二十年代後半からは、食生活も向上し、牛乳の消費も飛躍的に増加しました。



古谷 健一 社長

食の基幹産業をめざし、
積極果敢に未来に挑む

千葉県は北海道、栃木県に次ぐ第三の酪農県です。健康な牛を管理している酪農家から、搾りたての生乳をいち早く確保できるという

昭和二十六年には、株式会社フルヤ牛乳店として会社を設立、昭和三十一年に現在の社名、古谷乳業株式会社に変更されました。そして昭和三十九年に千葉市へ進出し、創業以来六十年余り、安全でおいしい牛乳にこだわり続けています。当健保組合には昭和五十八年の組合設立と同時に加入され、古谷健一社長は今年七月より第四代理事長に就任していただき、組合の代表として事業の円滑な運営と発展のためご尽力いただいております。現在、工場は成田工場一カ所に集中生産し、千葉中央、千葉東部、東葛、東京、土浦、さいたま、横浜の七営業所と千葉、銚子の直営販売所、特需課、量販課で販売しています。営業所の下には三〇カ所の販売店が置かれ、一〇〇人のミルクレディーで宅配に取り組んでいます。グループ企業として(株)フルヤアソシエイツ、(株)古谷商事が当健保組合に加入されています。

う地元の利を最大限に活用し、消費者に新鮮な製品をお届けすることを心がけています。当社使用の九〇％以上は、千葉県の酪農家が生産した生乳で、常に酪農家との共栄共存をめざし、地域密着型の経営を貫いています。ネーミング

平成三年には消費者ニーズの多様化、個性化に対応し、香取郡多古町に成田工場を新設稼働させ、それまでの千葉・銚子の生産工場を成田に集約し、原料から品質検査まで、多様な製品に対応してフルライン体制を確立し、品質管理にも細心の注意を払っています。また牛乳、加工乳、乳飲料において、食品の衛生管理システムの国際基準であるHACCP認定工場の承認を受けています。

環境面においても平成十七年三月には国際標準化機構が発行した環境マネジメントシステムISO14001を取得し、組織の活動による環境の負荷に配慮しながら事業を行っています。これは、千葉県が取り組んでいる環境対策に

大いに寄与しています。

主力製品は、なんといっても牛乳ですが、そのほかヨーグルト、プリンなどの乳製品や果汁製品、豆乳、青汁などの健康に役立つ製品を徹底的な衛生管理のもとで製造しています。成田工場は、酪農の中心地北総台地の多古工業団地にあります。古谷社長が県内を回り、牛乳生産に欠かせない水が豊富なことや、生乳の確保、交通網の整備などを考慮し、ここに建設を決められました。販売比率は量販店が一番多いのですが、少子高齢化の影響で学校給食から、病院給食、老人保健施設へと広がっているそうです。

宅配の比率が他社に比べ高い

平成元年からは、宅配サービスに重点を置いて大型壺七二〇mlを新発売と同時に従業員セールのなどを展開し、宅配比率を高めています。昨年八月からは、よいもの、納得のできる価値の高い商品ということから、どんな家族構成にもマッチする六〇〇ml壺(この大きさは日本で初めて)を宅配し始めました。販売店三三〇カ所と一〇〇

人のミルクレディーにより、いままで以上に宅配に力を入れていきます。「ミルクレディーさん」とは、時間に余裕のある奥さま方に朝の二時間くらいで宅配できる範囲を受け持つっていただき、消費者のできるだけ希望に沿った時間に鮮度の高い壺牛乳を配達するというもので、多様化する生活スタイルに対応するため、県内はもとより東京、神奈川、埼玉、茨城方面に宅配を展開しています。販売店が、お客さまと接し、信頼関係を築き、いつも新鮮な牛乳をスピーディーにお届けできるような流通・販売を意識しています。

宅配の四〇％は県外の首都圏で、つくば学園都市にも販売店を置いていきます。これからは、オートロックマンションへの宅配をいかに獲得するかが課題だそうです。そのほかに、「おいしさを家庭までお届けします」という「無料試験のキャンペーン」を行っています。皆さまも試してみたいはいかがでしょうか。

健康診断の受診率は一〇〇％近く

健康診断の受診率は一〇〇％近



▲主力製品

くで、そのうち三五歳以上の方は当健保組合の人間ドックを受診しています。産業医と提携して本人と配偶者に一緒に受診していただき、お互いの健康状態を把握し、管理できるように取り組んでいます。検査結果は保健師から指導を受けていますが、毎年ほぼ同じ人が指導されるのが悩みだそうです。有志活動としては野球、ゴルフ、釣り、ボウリングが行われ、特にゴルフが盛んで、会社主催のゴルフ大会では、生産部門の参加者が多いそうです。福利厚生としては、鴨川グランドタワー内の保養所が人気を集め、盛況のようです。

将来に向けた取り組みとしては、「健康食品である牛乳のアピールに力を入れていきたいと思っ

ています。それには社員の研修、健康管理を第一に、お互いに仕事に對し意見が言え、意思疎通の図れる環境をつくることにより信頼関係が生まれ、労災や病気にかかる人が減る職場環境をつくりたいと思っています。牛乳をつくるにあたり社会にどう貢献できるか、社員一人ひとりに熟知していただき、自信をもって営業、生産を向上させ、地域に根を下ろしていきたいと思っています」と熱く語ってくださいました。牛乳で日本人の最も不足しがちなカルシウムを補いたいものです。

斉藤総務部長をはじめ高岡総務部次長には、お忙しいなか長時間にわたる取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。